

祝辞/

今日、学生服のボタンをはずし/リボンをとれば皆さんは○中学生ではなくなります/

3年前は少し大きめだった制服も/見上げていたご両親も先生も小さくなっているはずです/

君たちは心も体も成長しました/時には君たちの小さな胸にとげがささり/

どうして、何でと、誰かに問いかけても/答えは見つからず/

「しょうがないんだ」と自分に言い聞かせて/作り笑顔で過ごした日々もあったことでしょう/

私たち大人は、もがいている君たちの遠くのほうで/

「もうちょっと頑張れ、我慢して乗り越えて」としか言えなかった/

でもその声も思春期という風に飛ばされて届かなくなったとき時/

君達は心を閉ざし始め、だんだん無口になっていった/

たぶん一番わかって欲しいことは言葉にしなかった/私たちはそれを上手に聞いてあげられず/

時に突き放してしまうこともあった/許して下さいね/でもどうか知っておいて下さい/

みなさんを育て、教え、導き、見守っている人は/自分のことでは泣けなくても/

君たちのことでは心から泣けるんです/君たちのことでは、いくらでも頑張れるんです/

雨が降りだせば、傘は持って行ったのか/宿題のワークブックは出したのか/

急に無口になれば、何かあったのか/

私たちが口うるさく言うのは/君たちを支え守りたいから/ただそれだけ/

先生方は、君達が迷いながら過ごした中学校生活を導いて下さいました/

地域の方は、いつも見守って下さいました/

後輩の皆さんは、君たちの背中を見て走ってきました/

目には見えなくても/いつも誰かがあなたのことを思っているんです/

世界でたった一人の大切な人だから/君達のありがとうには力があります/君達のその一言で/

友達も、先生も、家族も、まわりのみんな頑張れるんです/

「ありがとう」が人と人をつなぎます/

そして、物や機械の中ではなく、人の中で笑うことができます/

君達は生まれてから今まで/一生懸命生きてきました/苦しみを一つ一つ乗り越え/

仲間と励ましあいながら本当に頑張りました/

そして私たちに成長を見守る喜びをくれました/

君達がいたから、私たちも笑えました、泣けました/

ありがとう/

そして太陽のような笑顔をくれました/

ありがとう/

卒業生のみなさん/私たちは君達が好きです/だからこれから新しい道を歩き出す君達を/

いつでもずっと信じて応援します/人は心から感謝するとき/

自然と頭が下がります/どうか皆さんも/

どんな小さなことでもいいから/自然に頭が下がり、そして、下げてもらえるような/

優しい人になって下さい/

卒業おめでとう/

そして頑張ってくれてありがとう/

卒業生〇〇〇名の立派な成長に感謝してお祝いの言葉とします/

〇〇中学校 PTA 会長